

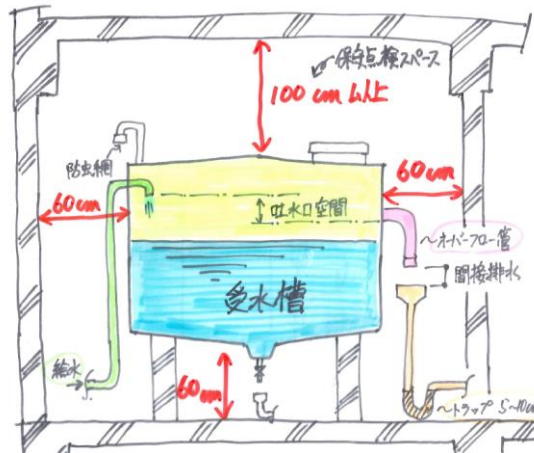
【Ⅱ設備】

13. 給排水設備

2回以上繰り返し出題のある内容で重要と判断した項目を抽出した。

(1) 受水槽の点検

- 受水槽の保守点検スペースは、底部及び周囲にそれぞれ60cm、上部に100cmのスペースを確保する。
- 受水槽の材質については、強化プラスチック・鋼板・ステンレス鋼板・木などがあり、使用目的に応じて選定する。
- 受水槽や高置水槽のオーバーフロー管及び水抜管は、排水の逆流を防ぐため、**間接排水**とする。



(2) トラップ

- 衛生器具のトラップは、**二重**トラップとしてはならない。
- 排水トラップの封水深は、トラップ口径の大きいものほど大きくするのではなく、**5～10cm**の範囲内とする。

(3) 給水圧力

- 給水圧力は、シャワーヘッドが**70kPa**、大便洗浄弁が**70kPa**、一般水栓が**30kPa**である。
- 高置水槽の低水位面までの高さは、シャワーヘッドと大便洗浄弁が**7m**以上、一般水栓が**3m**以上必要である。

(4) 排水再利用水

- 排水再利用水は、大腸菌が検出されなくても飲料水には**使用しない**。
- 原水にし尿が含まれていない**再利用水**を、便所洗浄水、散水用水、清掃用水に利用した。
- 排水再利用水の**原水**には、手洗い・洗面器及び湯沸室の排水は利用でき、更に厨房の排水も利用できる。

(5) レジオネラ菌

- レジオネラ菌の繁殖を避けるためには、貯湯槽内で**60℃**以上、末端の給湯栓でも**55℃**以上に保つ必要がある。

(6) 雨水排水立て管

- 雨水立て管は、**単独**として通気管に連結してはならない(汚水排水管との連結もしてはならない)。

(7) バキュームブレーカー

- 逆サイホン作用で逆流のおそれがある大便器洗浄弁やホース接続する散水栓には、**バキュームブレーカー**を設ける。
- バキュームブレーカーは、排水管内に空気を吸引して真空を防止し、汚水等の**逆流を防止**する器具である。

(8) 節水こま入り水栓

- 節水こま入り給水栓は、こまの底部の大きさを、普通こまより小さくした節水こまによって、**節水**を図る水栓である。